



池田良穂 (大阪経済法科大学) 客員教授

# 新クルーズ学

31

前回に続いて島めぐりから、沖合に浮かぶ田代の船旅についてご紹介し島と網地島の2つの離島です。ほぼ半世紀前、全と、牡鹿半島の先端の捕鯨的「離島ブーム」と鯨の町、鮎川を結ぶ航路呼ばれる観光ブームがありました。都会の若者が夏休みなどに大挙して離新しくなったピカピカの島に出かけ、長期間滞在する人も多かったのです。しかし、このブームは去った後、島の過疎化が進み、唯一の交通手段である離島航路の維持が難しくなることも少なくありません。こうした苦境の中、観光で離島乗船客数は約8万人でしたが、平成18年には人口が600人余りに激減してしまいました。このような過疎化の中では、航路がギリ貧になることは見えています。

同社は、宮城県の石巻から、沖合に浮かぶ田代の船旅についてご紹介し島と網地島の2つの離島です。ほぼ半世紀前、全と、牡鹿半島の先端の捕鯨的「離島ブーム」と鯨の町、鮎川を結ぶ航路呼ばれる観光ブームがありました。都会の若者が夏休みなどに大挙して離新しくなったピカピカの島に出かけ、長期間滞在する人も多かったのです。しかし、このブームは去った後、島の過疎化が進み、唯一の交通手段である離島航路の維持が難しくなることも少なくありません。こうした苦境の中、観光で離島乗船客数は約8万人でしたが、平成18年には人口が600人余りに激減してしまいました。このような過疎化の中では、航路がギリ貧になることは見えています。



石巻中津に停泊する「シーキャット」を背景に、森美術館石ノ中央

## 人口減と反比例し乗客増

網地島 ライン

そこで、観光客誘致に力を入れることにしました。しかし、航路補助を

平成3年の東日本大震災の津波では、全所有船がいち早く沖にでて助かり、被災10日後からは無事だす役所は「離島生活航路として補助しているの

に、なぜ観光客誘致なのに、なぜ観光客誘致なのか」と当初はなかなか賛同が得られなかったとい

昨年には島内人口は393人になりました。一方、同航路の乗客数は10万人を達成して、ついに新造船の投入が実現しました。この10万人中の島民数は1万4千人あまり。すなわち、観光客需要が86%の比率を占める観光航路にみごとに衣替えをしたこととなります。

調べてみると、東北には同様の補助離島航路が5つありますが、島内人口減少と反比例して乗客数が伸びている航路は網光に誘う船名なのです。

1日4便の運航で、高速船で石巻から田代島まで約40分、網地島まで約1時間、カーフェリーでは田代島まで約1時間、網地島まで約1時間半の行程です。7日間、島間乗り放題で30900円というフリークーポンでアイランドホッピングを楽しむのも一興です。



摩護大燈採浦加太「の行事の行  
く道女女人高野」

# 日本遺産認定 女人高野

「カニハシ」打  
同社が求めるロケット打  
戦略的に誘客し、観光消  
費効果の実現を図る考  
え。宇宙教育の充実化や  
宇宙関連産業の集積につ  
ながることも期待して  
る。

守り続ける癒しの聖地  
」の2つが6月、「日  
本遺産」に認定された。  
日本遺産は地域の歴史  
の魅力や特色を通じて、  
日本の文化・伝統を語る  
ストーリーを文化庁が認  
定する制度。今回の2件  
化背景が評価された。

を含めて和歌山県内の日  
本遺産は7件になった。  
「葛城修験」は修験道  
の開祖である役行者（え  
んのぎょうじや）が初め  
て修行を積んだ地で、地  
域の人々が大切に守り続  
けてきたことが認定につ  
なげた。「女人高野」  
は高野山の女人結界によ  
り参拝が許されなかった  
女性らを受入れてきた文  
化背景が評価された。

主な文化財として「葛  
城修験」には和歌山市の  
加太春日神社（国重要文  
化財）、岩出市の根来寺  
（国宝・国重要文化財・  
国史跡）、紀の川市の粉  
河寺（国重要文化財）、  
かつらぎ町の丹生都比売  
神社境内（国史跡）、橋  
本市の小峯寺、不動山の  
巨石。「女人高野」には  
高野町の女人道、不動坂  
口女人堂、九度山町の慈  
尊院の境内・建物群（国  
重要文化財など）・彫刻  
群（国宝など）、丹生官  
省符神社（国重要文化  
財）がある。

## 大自然が力をくれる 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン

和歌山の緑豊かな大自然は、新型コロナウイルス感染症  
で被った心身の疲れを癒すことができます。世界遺産「高野  
山」や「熊野」で聖地のパワーを感じたり、各地にある源  
泉かけ流しの温泉に浸かったり、山海のグルメを味わった  
りと、和歌山での楽しみ方はたくさんあります。

さらに、楽しみながら県内を周遊してもらうため、様々な  
スタンプラリーを用意しており、新たに10月からは、モ  
バイルを使ったスタンプラリーも開始しました。

古から伝わる「蘇りの地」で、心身共にリフレッシュを！



問合せ先

和歌山県観光振興課 TEL 073-441-277  
(公社)和歌山県観光連盟 TEL 073-422-463

和歌山県観光ホームページ

<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>  
「蘇りの地、わかやま」特設ホームページ

和歌山県 観光情報

<https://www.wakayama-kanko.or.jp/features/recharge-wak>